

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	快適で清潔なまちづくり推進事業				担当部	市民生活部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般事業		担当課	廃棄物対策課			
	事業期間	平成20年度		～	平成31年度以降		担当係	環境美化係			
	総合計画 新基本計画	施策等	1 安全・環境		5 ごみ対策		3 地域の環境美化活動を推進します				
			重点事業		実施計画事業						
	予算区分	款	2	項	8	目	1	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市快適で清潔なまちづくり条例									
	目的	何・誰を対象に	市内一円								
		どの様な状態にするのか	「快適で清潔なまち小牧」の実現を目指し、市・市民等及び事業者が、それぞれの役割の下、地域環境の保全及び美化の促進を図る。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆27年度実施内容 ごみ散乱防止のための啓発や清掃活動、市民総ぐるみの地域美化活動を「小牧市快適で清潔なまちづくり協議会」とともに事業を実施した。 内容は、啓発用の看板の配布や不法投棄多発地域への不法投棄監視カメラ等の設置、廃棄物適正処理指導員のうち4人でパトロール車(軽トラック)でのパトロールを実施した。また、啓発看板シートを作成して、パトロール車の幌両側に貼り付け走行することによる不法投棄防止啓発を図った。次に、ペットの糞害対策として、イエローカード作戦の周知を図り、3団体・18個人が実施した。更に、協働提案事業化制度にて連携団体に実施を委託した。</p> <p>◆27年度直接経費の内訳 啓発用資材の配付、クリーンアップやペットの糞害対策の経費など 需用費(2,173千円)うち、不法投棄防止啓発車両掲示看板シート(254千円) * その他財源(126千円)不法投棄未然防止事業協力助成金[家電製品協会]補助率1/2 役務費(35千円) 委託料(23千円) 【27年度その他職員人件費】 事務員1人 社会保険料(222千円)、賃金(1,393千円)</p> <p>○28年度実施内容 啓発用の看板の配布や不法投棄多発地域への看板設置、廃棄物適正処理指導員によるパトロールを継続する。また、引続きイエローカード作戦の周知を図り、協働提案事業化制度にて連携団体に実施を委託する。</p> <p>◆28年度直接経費の内訳 啓発用資材の配付、クリーンアップやペットの糞害対策の経費など 需用費(2,651千円) 役務費(702千円) 委託料 協働提案事業化制度でのイエローカード作戦(23千円) 備品購入費 物品棚 5台(270千円) 【28年度その他職員人件費】 事務員3人 社会保険料(786千円)、賃金(4,778千円)</p>									
受益者負担	無										

		単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,797	5,188	2,231	3,646	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,100	1,100	1,100	1,100
		その他職員	従事者数	人	5.00	5.00	1.00	3.00
			人件費	千円	8,236	7,882	1,615	5,564
		費用合計	千円	12,133	14,170	4,946	10,310	
	対前年比	%			116.7	34.9	208.4	
財源	一般財源	千円	12,028	12,961	4,820	9,914		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	105	1,209	126	396		

業 績	活動指標名		単位	H25	H26	H27	H28
	クリーンアップ事業実施回数	回	目標	1,900	2,000	2,000	5,700
			実績	1,901	1,914	5,670	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H25	H26	H27	H28
	クリーンアップ事業年間参加者数	人	目標	71,000	78,000	81,000	85,000
			実績	77,221	80,292	84,132	
パトロール員によるゴミ回収量	kg	目標	35,000	35,000	22,000	32,000	
		実績	39,110	22,180	33,020		

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	ごみ散乱防止の啓発や地域清掃活動を「小牧市快適で清潔なまちづくり協議会」とともに実施した。これにより、クリーンアップ事業の実施回数や参加者数が増加した。また、啓発用看板の配布や、ペット糞害対策としてのイエローカード作戦の実施、廃棄物適正処理指導員によるパトロール活動と散乱ごみを収集するなど環境美化の推進を図った。				
		事業実施における課題	ごみ散乱防止の啓発や地域清掃活動など実施しているが、不法投棄されたごみは後を絶たない状態が続いている。また、ペットの糞害については、イエローカード作戦の実施地域では一定の効果があり減少しているが、問題の地域は依然として存在している。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	事業を縮小や廃止すれば、益々不法投棄ごみやペット糞害が増えることになり、市内の環境美化を図ることができない。				
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	不法投棄防止策として、パトロール活動は、不法投棄の多い地域、場所を中心に巡回し作業効率を高めるとともに、防止啓発看板と監視カメラを併用し、不法投棄多発地に設置する。また、ペット糞害防止対策として、防止啓発看板の設置とイエローカード作戦の普及促進活動を継続する。				
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	ごみ散乱防止の啓発や地域美化活動、環境美化パトロールの実施により、市内の環境美化に努めているが、不法投棄は後を絶たない状態が続いているため、事業を継続する必要があると判断する。					
	29年度以降の改善案	監視カメラ等の設置による監視とパトロール活動との相乗効果により不法投棄抑制の強化を図る。更に、イエローカード作戦の普及により糞害防止の強化も図り、地区やボランティア団体の清掃活動とあわせて地域環境美化を進める。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。